

平成 24 年 11 月 26 日

各 位

会社名 明日香食品株式会社

代表者名 代表取締役社長 此下 竜矢

## 当社親会社の中国青島駐在員事務所開設と当社の取り組みに関するお知らせ

この度、当社の親会社であります昭和ホールディングス株式会社（以後「昭和」）は同社グループの事業展開の支援を行うため、中華人民共和国山東省青島市に駐在員事務所を開設いたしました。また、タイ王国におきましても同じく駐在員事務所を設立する予定とされております。当社はこれらの事務所からの支援を活用し、現在行っております当社食品事業のアジア全域展開ならびに、国内事業の競争力強化に一層取り組んでまいります予定ですのでお知らせいたします。

### 記

この度の事務所を通じて当社は下記取り組みの推進を期待しております。

- ①当社事業の調達の強化
- ②当社事業の現地展開
- ③M&Aに向けての情報収集ならびに交渉等の活動

#### ① 社事業の調達の強化

当社は、現在においても中国より一部原料、加工品を輸入しており、主要原料の中で大きな割合を占めております。特に青島市を中心に山東省は様々な原料、加工品の生産並びに輸出拠点となっております。一例を挙げますと、日本が輸入する海外産餡子の 9 割は中国からの輸入となっておりますが、このうち多くが青島市付近で製造されております。特にここ数年、中国においては食品工場に対する大規模な投資が行われてきており、また管理手法も急速に向上しております。このため数多くの提携候補が育ってきております。

当社は、これらの調達や委託生産に関して必要な交渉等を昭和へ委託することや、支援を受けることにより、現地に密着した交渉や生産管理、新規委託先の開拓が可能となり、コスト面や食の安全を確保する品質面、トレーサビリティの向上などに効果があるものと考えております。

#### ②当社事業の現地展開

当社は現在製造販売を完全に日本国内でのみ行っております。しかしながら中期経営計画において表明いたしましたように、人口と所得が伸びつつあるアジアでの展開を企図しており、中国ならびにタイはこの嚆矢となるべき国であると考えております。今後中国国内においては特に都市部中間層を中心に、安心して安全な、そして「ちょっと食べる喜び」を与えることので

きる食品が、ますます大量に消費されると考えられます。このため、中国ならびにアジア諸国への進出を検討しており、今後昭和との協力を通じて現地展開の加速を期待しております。

### ③M&Aに向けての情報収集ならびに交渉等の活動

当社は昭和の支援の元、本年 11 月に廃業する同業他社の資産取得を行っております。これは現在の生産能力の増強のみならず、将来的な海外事業展開のための生産設備、研究開発の拡大を意図して行ったものです。このような活動などを通じ、現在と将来の当社の事業拡大に貢献するものと確信しております。今後も昭和の支援も受けて、このような事案をアジア全体に拡大させて参ります。

## 3、今後の見通し

当該駐在員事務所というグループ共有のインフラストラクチャーを活用することにより、当社としても当社の調達力強化、食品事業の現地受注を嚆矢に積極的に事業化に取り組んでまいります。

当社は既に平成 23 年 6 月 27 日に当社の中期経営計画であります「アクセルプラン 2012」をグループ共同で発表しております。この度の中国ならびにタイへの駐在員事務所の設置はアジア展開を一つの軸にしております同「アクセルプラン 2012」の具体的な実行を大いに助けるものとなると考えております。

## 4、駐在員事務所の概要

事務所名	日本昭和持股株式会社
住所	中華人民共和国山東省青島市市南区福州南路九号新世界大慶第 1 8 層 1817 号房同
首席代表	此下竜矢（昭和ホールディングス株式会社 代表執行役最高経営責任者 兼 当社代表取締役社長）

以上